

# 交運労協 FAX ニュースNO. 27

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル 3階 発行日 2012年5月14日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570

発行人 交運労協 関 政治

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

## 前田国交省大臣に高速ツアーバス事故問題 で、安全対策強化に向けて要請行動を展開！

### 原因究明、事故防止等の抜本的対策を訴える！

本日、交運労協は渡辺幸一議長を先頭に副議長及び事務局と交運労協政策推進議員懇メンバー15名で国土交通省前田武志大臣に対して、「関越自動車道高速ツアーバス事故」(4/29発生)に関わる「要請書」(別添)を手渡しし、早急な対策を講じること等を求めた。前田大臣は「事故を重く受け止め、早急に対策を講じていく」ことを約束。続いて、国土交通省記者クラブと会見の場を設定し、「高速ツアーバス事故」に関する問題点を訴えた。

#### 【 前田国交省大臣に要請書を提出 】



#### ■渡辺幸一議長から要請

今回の事故はあってはならない事故で、我々が以前から対策強化を求めてきたものだ。ツアーバスの競争激化の背景には規制緩和があり、その根本の対策強化を図ることが求められている。政治の場から、しっかりと取り組んでもらいたい。

#### ■前田武志国土交通省大臣の答弁

申し入れの主旨については重く受け止めたい。国土交通省としてもご指摘の点を踏まえ、しっかりと原因究明と対策を講じていきたい。省内に設置されていた「バス事業のあり方検討会」の中で指摘された構造的な問題点も含めて「2年後実施」に関わらず、前倒しして取り組みの強化を図っていく。国土交通省に、新たに吉田治副大臣をキャップとして新チームを発足させて、規制緩和以降の基本的な問題にも着手した見直し作業を図っていく。引き続き、交運労協からも、公共交通の安全・安定運行に向けての政策提言を行ってもらい協力して欲しい。

#### 【出席した「交運労協政策推進議員懇メンバー」】

○三日月大造衆議院議員、熊田篤嗣衆議院議員、中島隆利衆議院議員、川合孝典参議院議員、田城郁参議院議員

[ 国土交通省、大臣室で質疑応答場面 ]

■前田大臣との応答

【交運労協】①事故に至る背景と原因について明らかにすること。②安全対策の強化と再発防止、監査体制の強化を図ること。③検討会を設置して抜本的対策を講じること。

【前田大臣】要望された問題については理解している。先に開催された有識者



会議等では乗務距離 670 キロが問題視されたが、それ以前に基本的なことが守られていないと思う。構造的な問題にメスを入れ、前倒して対策を実施していきたい。制度設計をして実行が伴うように吉田治副大臣をキャップとしてチームを発足させて対策を講じていく。

【交運労協】要望した「3 項目」については国土交通省として、前向きに受け止めると理解してよいか。

【前田大臣】問題意識は同じだと認識している。引き続き、省内で議論を重ねたい。

【交運労協】今日まで交通・運輸に対する規制緩和が推し進められてきたが、安全緩和にもなっており、基本的な取り組みが求められていると思う。

【前田大臣】野放図な規制緩和については対策を講じていく。

【交運労協】この問題解決に向けては交通基本法の成立も急がれる。大臣の考え方はどうか。

【前田大臣】同様の考え方だ。

【交運労協】2007 年に発生した「あずみ野観光バス」の事故以降、ツアーバスに対する安全強化等を求めてきたが、何らその対策が取られず放置されてきた。我々は「事故が起きてからでは遅い」と再三訴えてきたが、同じような事故が発生してしまった。対策強化を怠ってきた省庁の責任もあるのではないか。

【前田大臣】当時、民主党は野党であったが、事故を受けて対策強化を訴えた。政権政党となり、その対策を強化している最中の事故であり残念でならない。早急に対策を講じるために民主党内の取り組みとも併せて具体的な問題解決を図っていく。

【交運労協】同様な性質を有した問題を航空関係も抱えている。格安運賃を売り物にするLCC導入に際した安全対策の強化を求めたい。

【前田大臣】LCCは新しいビジネスモデルと認識している。安全対策は運輸安全委員会の中で検討していく。

※文責は事務局にあります。

以上

2012年5月14日

国土交通大臣  
前田武志 殿

全日本交通運輸産業労働組合協議会  
(交運労協)  
議長 渡辺 幸一

## 高速ツアーバス事故に関する要請書

4月29日午前4時40分頃、群馬県藤岡市の関越自動車道上り線において、乗員乗客46人の高速ツアーバスが道路左側の防音壁に衝突し、乗客7人が死亡、乗員乗客39人が重軽傷を負う痛ましい事故が発生しました。

事故原因については、運転手の居眠り運転が指摘されている中、国土交通省関東運輸局の特別監査において、数十件もの道路運送法違反が確認され、時間を追うごとにバス会社のずさんな運行管理が浮き彫りになってきています。

私たち交通・運輸産業に従事する者にとって、安全輸送の確保は最大の使命であり、絶対にあってはならない事故です。

規制緩和以降、過当競争による運賃ダンピングが常態化するとともに、運転手の過重労働など安全面の課題が指摘されてきました。価格競争などで経営環境や労働環境が厳しさを増す中、過度なコスト削減により安全運行に支障を来したという疑いは払拭できません。

したがって下記の内容を要請いたしますので、誠意をもって対処されるよう要請いたします。

### 記

1. 事故に至る背景と原因について明らかにされるよう要請いたします。
2. 安全対策の強化と再発防止策および、監査体制の強化を図られるよう要請いたします。
3. 全般的な自動車事故防止を含めた安全対策の確立に向けて、検討会を設置し諸対策の強化を図られるよう要請いたします。

以上